

2019年10月25日
住友生命保険相互会社

みらかホールディングス株式会社が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 橋本 雅博、以下「住友生命」）は、みらかホールディングス株式会社が発行する「ソーシャルボンド」への投資を決定しました。

「ソーシャルボンド」とは、社会課題の解決に資する事業を資金用途とする債券です。本債券については、国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）が定義する「ソーシャルボンド」に適合しており、株式会社格付投資情報センター（以下「R&I」）から第三者評価を得ています。本債券の資金用途については、最先端の検査ラボラトリー設立に伴う機器・ITシステムの導入等であることから、高品質な検査を低コストで提供する等の効果が期待され、ひいては医療費抑制の要請といった社会的課題の対応に繋がることが期待されます。

住友生命は、持続可能な社会の実現、および、中長期での投融資を行う機関投資家にとって運用収益の向上に資するとの認識の下、ESG投融資に取り組んでおり、本債券への投資につきましても、その一環として行うものです。

今後も、ESG投融資を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していくとともに、運用収益の向上に取り組んでいきます。

<本債券の発行概要>

発行体：みらかホールディングス株式会社（R&I 格付：A）

発行額：総額 200 億円

年 限：5年、7年、10年

以上